

# ガジュマルの聲



＜教育目標＞  
『豊かな未来を拓く  
児童の育成』

発行  
五島市立富江小学校  
校長 坂本 憲司

## ほっこりするエピソード

運動会終了後、子供たちは「息切れ」することなく、元気に頑張っています。今回は、低学年のほっこりするエピソードを御紹介します。

### 1. 栽培活動にて

1・2年生は、生活科の学習で草花や野菜を育てます。ある日、2年生がミニトマトを植えていました。ミニトマトの苗を一人一鉢、丁寧に植えて、水やりのお世話をしていました。「実がなったら1個ちょうだいね」と声をかけてみました。

子供達は口々に「いいよ!」「あげるよ!」と答えてくれましたが、いきなり衝撃の一言が!

○僕が食べてみて、甘かったら、あげるね!

教師になって35年になりますが、このような言葉を聞いた記憶がありません。何と思いやりのある心遣いでしょう。それを聞いた周囲の子供も、「私も味見してからあげるね!」「僕も!」という温かい言葉が広がりました。富江小の子供達が心豊かに育ってきていることを実感し、うれしくなりました。

### 2. お仕事がんばってね!

子供たちは、下校時に校長室の下を通るとき、「校長先生さようなら~!」と元気にあいさつをしてくれます。1年生は、ほぼ毎日、最後に次の一言を言ってくれます。

○ お仕事がんばってね~!

頑張りますとも!

疲れた心と体を癒やす温かい言葉、うれしいものです。「言葉のもつ力」の大きさを実感しています。



5/24の下校風景。学童に向かう子供たちです。

## 富江小を支える「職人」

写真では分かりにくいかもしれませんが、富江小学校玄関の下駄箱が新しくなっています。



本校の西村校務員の手作りです。まるで、専門の建具屋さんへ発注したかのような見事な仕上がりです。木材の緻密な採寸・切り出し、角の面取り仕上げ等、まさにプロ!です。床の傾斜に合わせて設置するこだわりにも感心しました。これから先、何十年も使えそうです。御来校された際には、ぜひ御覧ください。

本校管理棟から教室のある校舎への渡り廊下は、吹きさらしのために雨天時に床がびしょびしょになります。また、木の葉等が吹き込んで汚れます。校務員の西村、事務の谷口と、「防風雪ネット」を設置しようかと検討中です。